

第7回久喜市総合振興計画審議会 会議録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
-------	-------------------

1 開 会

関根参事兼企画政策課長	<p>委員の皆様、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。ただ今から、第7回久喜市総合振興計画審議会を開会させていただきます。まず、委員のご報告になります。本日は、委員20名中、15名出席となっており、過半数に達しておりますので、本会議が成立いたしますことを、ご報告させていただきます。次に、議題に先立ちまして、皆様にご了承をいただきたいことが2点ございます。</p> <p>まず1点目が、会議録の作成のため、会議の様子を録音させていただきます。次に、本会議は、久喜市審議会等の会議の公開に関する条例第3条に基づき公開となりますことから、傍聴を希望される方がいる場合には、受け入れるものでございます。本日は傍聴の方はいらっしゃいません。</p> <p>続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7回久喜市総合振興計画審議会 次第 ・資料1 第2次久喜市総合振興計画 基本計画<基本目標7・8> (検討原案) <p>以上、次第を含めまして、2点でございますが、不足等はありませんでしょうか。</p>
-------------	--

2 会長あいさつ

関根参事兼企画政策課長	<p>それでは、続きまして、石上会長からご挨拶を頂戴したいと思います。石上会長、よろしく願いいたします。</p>
石上会長	<p>皆様、こんにちは。年度末のお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日は第7回目となりますが、基本目標7と8について、ご審議いただきます。</p> <p>これで一通り事務局からのご説明とご審議ということで一巡いたします。引き続き、闊達なご意見を頂戴できればと思いますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。</p>
関根参事兼企画政策課長	<p>石上会長、ありがとうございました。</p> <p>次に、会議録に署名をいただく委員の確認をお願いいたします。</p>
石上会長	<p>今回の会議録の署名委員ですが、私の他にもう1人の委員の署名が必要となります。名簿順ですと、小野田委員さんをお願いをしたいと思います。</p>

小野田委員	す。 よろしいですか。
関根参事兼企画政策課長	(了 承)
関根参事兼企画政策課長	ありがとうございます。 小野田委員さんには、会議録のご確認と署名をよろしくお願ひいたします。
関根参事兼企画政策課長	それでは、議事に移らせていただきます。 会議の進行につきましては、久喜市総合振興計画審議会条例第7条の規定に基づきまして、会長に議事の進行をお願ひいたします。 それでは、会長よろしくお願ひいたします。

3 議題 第2次久喜市総合振興計画 基本計画<基本目標7・8> (検討原案) について

石上会長	始めに、議題の「第2次久喜市総合振興計画 基本計画<基本目標7・8> (検討原案)」についてでございます。 例によって、基本目標7と8を分けてご検討いただきたいと思ひます。それでは、まず基本目標7の検討原案の内容について、事務局から説明をお願ひします。
小室担当主査	下記資料に基づき説明 ・資料1 第2次久喜市総合振興計画 基本計画<基本目標7・8> (検討原案)
石上会長	ありがとうございます。基本目標7は4項目について、ご説明をいただきました。いずれでも構いませんので、ご自由にご質問等よろしくお願ひします。
高田委員	2点ございます。1点目はKPIについてご質問させていただきます。今回はコミュニティ系の話が多かった印象です。令和3年の現状値と比較して目標値を設定することになっていると思ひますが、コロナにより、なかなかコミュニティ活動が開催できなかったということで、できれば2019年、2018年の数値を参考に設定していただきたいと思ひます。2点目は「7-4. 広く久喜をPRして賑わいを創出しまちの魅力を高める」とのことで、できましたら民間メディアの活用も記載していただければと思ひます。SNSや動画チャンネルは、市の独自の努力だと思ひますが、メディアも活用できる領域だと思ひますので記載いただければありがたいと思ひます。

小室担当主査	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>1点目のK P Iの現状値については、全体に関わってくるので事務局からご説明させていただきます。コロナの影響で令和3年度の実績値について、実際の水準よりも下がっているところがあると思います。こちらについては、書き方としましてコロナの影響があるものは、コロナ流行前の令和元年度の数値を、「※」で併記するなど目標値設定の考えを示していきたいと考えております。次回の審議会以降に、目標値と現状値を記載した上でご審議いただきますが、ご質問の項目についても考慮しながら目標値を決めていきたいと思ひます。</p>
石上会長	<p>明らかにコロナの影響を受けたK P Iについては、2年前の数値を併記することになります。2点目についてはいかがでしょうか。</p>
渋谷環境経済部副部長	<p>2点目の市公式動画チャンネル等の発信の媒体について、マス媒体やS P媒体など、検討しながら実施していきたいと思ひます。</p>
田中委員	<p>6ページ、現状と課題のところを確認です。2つ目に「久喜ロータリークラブによる小学生の宿泊交流」と記載がありますが、新型コロナウイルス感染症の流行により、2018年を最後に青森県野辺地町との交流を行っていません。今後、同様の事業の開催は不可能と聞いておりますので、記載するかしないかも含めてご検討いただければと思ひます。</p>
小森谷市民部市民生活課長	<p>ご指摘いただいた点については、現在実施していないということを確認していますが、今まで取組みを行ってきたということで、ここには記載をさせていただきました。今後のお話については、予定もあるかと思ひますので、記載内容を再度検討したいと思ひます。</p>
石上会長	<p>5ページのK P I「附属機関委員のうち10～30歳代の者の割合」について現状値を教えてください。</p>
小森谷市民部市民生活課長	<p>正確な数値ではないですが、4人程度と記憶しています。</p>
石上会長	<p>パーセンテージでいうと、どれくらいでしょうか。</p>
小森谷市民部市民生活課長	<p>限りなく0に近い数値となります。</p>
石上会長	<p>このK P Iの設定はよいと思ひます。目標値をどれくらいに設定される予定でしょうか。</p>

<p>小森谷市民部市民生活課長</p>	<p>後段に、「デジタル技術等の活用により、市民、特に次代を担う若い世代の市政に対する興味・関心が高まるような、新たな手法を取り入れた市民参加の仕組みづくりを進めます。」と記載がある通り、今後はSNSやスマホ、タブレットを使った市民参画を検討していきたいと考えております。具体的な数値をここでは申し上げられませんが、なるべく多くの若い世代、子育て世代に参画していただくことが重要であると考えております。</p>
<p>大谷委員</p>	<p>5ページ「市民団体・ボランティア団体の活動を支援します」について、(2)「団体への情報提供や補助金の交付等を行うことで」と記載がございますが、活動は補助金の交付、情報を提供するということだ、と捉えてよいのでしょうか。要するに、補助金を交付することが支援だという以外に、他の支援はないのでしょうか。情報提供について、市から助成金をもらえますよ、とご案内いただくのですが、その申請が難しいので、そういうところへの支援こそが必要だと思います。どのくらいまで支援するのかということがこの文章から見えてこないで、もう少し違う書きぶりは無いのかと思いました。</p> <p>第1次計画でも同じような項目があり、そこから市民活動が活発になったのか、と思っているので、また同じような計画では5年後のまちの姿が実現できているか疑問に思いました。いま審議しているところは難しいと思っていて、どのように発言しようか迷っていたのですが、10年前からあんまり変わっていないと思いましたので、コミュニティが活発になっているのか、自治基本条例について、この審議会のような場に、一般の市民の方々が出てきて活発に意見交換を行っている場面を想像しますが、それ自体も市民の何割が知っているだろうという疑問がありまして、市民に向けてどう発信していくのか、もう少し具体的な記載はないのかと思いました。</p>
<p>小森谷市民部市民生活課長</p>	<p>市民団体・ボランティア団体の活動支援についてご意見をいただきましたが、10年目と比較してどうなの、というところもありまして難しい部分は我々も認識をしています。その中で補助金の話がございましたが、市民活動を推進する補助金の助成事業というのは我々もずっと取り組んでおります。新規の事業は10万円、継続の事業は5万円というような、すみ分けをしながら支援をしております。書類の作成が難しいというご指摘ですが、我々も税金を使ってそのような支援を行っているのです、細かいところまでお願いをしておりますけれども、市民生活課の方に来ていただければ、書類作成のお手伝いもさせていただきますし、現状も取り組んでおります。</p>

	<p>団体が継続していくにあたっては、新規の会員や活動状況をPRする場が必要と考えておまして、専用ラックを設置したり、HP上で毎年度活動状況を確認しながらPRをさせていただいているところがございます。細かくは記載しておりますが、このような形で記載させていただきました。</p> <p>ボランティア団体と市民参加が本来リンクして繋がっていくのが重要であると考えております。現状はやっていない状況もございますが、外国籍の市民の支援団体は連携しながら一緒に行っているところもありますので、今後5年後に、そのようなところも発展させていくイメージは持っておりますので、補助についてはもう少し突っ込んだ話が必要かなと感じておりますのでご理解いただければと思います。</p>
石上会長	<p>なかなかわかりにくい部分を、わかりやすくするのがKPIになります。具体的にどの数値がどうなればこの目標を達成できたか、と認識するのかというところになります。「附属機関委員のうち10～30歳代の者の割合」も大事ですが、この市民団体・ボランティア団体の活性化について、何らかの形で指標として測れば、もう少し具体的なイメージができると思います。</p>
石上会長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>では、またお気づきなところがありましたら後ほどでも結構ですので、先に進めさせていただきます。続いて、基本目標8の検討原案の内容について、事務局から説明をお願いします。</p>
小室担当主査	<p>下記資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 第2次久喜市総合振興計画 基本計画<基本目標7・8> (検討原案) について <p>(柿沼委員 入室)</p>
石上会長	<p>ありがとうございました。基本目標8は、3項目になります。ご自由にご質問等よろしくをお願いします。</p>
小林副会長	<p>デジタル化についてお願いがございます。市の方でデジタル化を進めるという事は市民参加の向上などが考えられ、見方を変えれば、住民の方が市役所に来なくても色々なことができることがDXだと思えます。KPIに、現状の市役所への来庁者、窓口にどれくらいの市民の方が来ていて、デジタル化後はどれくらいの市民の方が来たのか、その比較を記載した方がもっとわかりやすいと思えます。評価項目の中に入れられるのであれば入れてほしいと思えます。</p>

石上会長	オンラインで手続きができるとか、申請ができるとか、そのようなことだと思います。
小澤総務部副部長	ご意見ありがとうございます。 今後検討させていただきたいと思いますので、ご意見として頂戴したいと思います。
高田委員	17 ページのDXについて、弊社でも民間としてDXを進めています。課題があり、使う側の立場では若い方は何も教えなくても使えますが、ご高齢になってくるとなかなか難しくなります。スマホも同じ状況です。久喜市の高齢者大学様では我々が無償でスマホ教室を行っており、色々な質問をいただいています。このようなことを進めるにあたり、これからアクションプランを作成されると思いますが、サポート体制について記載していただくと「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」、このキャッチコピーが映えてくるのではないかと思います。
小澤総務部副部長	貴重なご意見ありがとうございます。デジタルに親しんでもらうようなスマホ教室ということもご意見いただいてありがとうございます。誰一人取り残さないという点では、デジタルを推進していくと同時に、アナログ対応を残すということも重要になってきます。そういった面もサポートの中の一つになろうかと思います。様々な角度からご検討させていただきたいと思います。
岩崎委員	14 ページ、15 ページ「行政改革の推進」に関係するということでお話させていただきたいと思います。公共施設の老朽化が色々な施設で進んでいると思います。適正配置なり、アセットマネジメントの推進というのはわかるのですが、庁舎の問題で気になることがございます。久喜は合併後満 12 年が過ぎました。当時の合併の考え方については、国を始め各自治体でも、なぜ合併するのかという大きな議論が全国的にされまして、財源の措置とか色々あって平成の合併ということで、かなりの自治体で合併をしました。その中で久喜市も満 12 年経ちました。そうすると庁舎のことになりますが、それぞれ菖蒲は菖蒲、鷺宮は鷺宮、栗橋は栗橋、久喜市役所がありますから、当然それらの施設の有効活用のはわかります。合併しましたが、解体しましたという話はある話ですが、これをずっと続けるのかどうか、ということになりますと、一つの大きな部が菖蒲にあたり、鷺宮には教育部があたり、それぞれ福祉関係の部署の職員増加が顕著ですから、手狭でそうせざるを得ないのもわかります。 合併というのは、各団体の均衡ある発展、一体感の醸成という大きな目的があって合併しており、それには効率的な財政運営があると思います。そうした中、これをずっと存続していくことは少し考えなければならない

	<p>と思います。住民にとっては身近に庁舎があるため、便利になりますが、合併から 12 年経過しているから、この計画が 10 年計画となりますから、この段階で見直してもよいのではないのでしょうか。</p> <p>窓口機能等は、大きな総合支所ではなく、小さな部署でもデジタル化を推進することでできると思います。当時の職員数と比較すると 1/10 なのか 1/8 程度と減っていると思いますので、今後どうするかを考えると、そこに庁舎があるから、ずっといるんだということでは一体感の醸成は難しくなると思います。そうすると、あと 10 年くらいはそのような記述を、構想の中には入れてもよいのではないのでしょうか。鴻巣市や加須市では、総合支所の機能を置いております。このあたりの事例を充分検討されまして、もし記述ができるのであれば記載して、場合によっては解体等についても大きな費用がかかるとは思います。長期的なメリット、デメリットを比較して、特に企画部門が全面に出て進めていただければと思います。</p>
中村総務部長	<p>全体的なお考えということで、私からお話させていただきます。今ご意見をいただきました、行政改革の視点から見ても公共施設の在り方等については、今後検討する時期も来るかと思いますが、合併後 12 年ということで久喜市では、合併後 10 年を目途に、合併の検証をしております。今ホームページで市民の皆さまにも状況をお伝えしております。庁舎の存続については、これまで議会の中でも個別施設計画の中でも庁舎の在り方の議論をしております。本庁舎においてはこの場所に置くということでお知らせをさせていただいております。個別施策計画は見直しをさせていただくということになったところでございます。合併当初から 12 年経過しております。コロナ禍ということもありまして、市民の皆さまの新しい生活様式での働き方改革など、さまざまな視点から今後の行政の在り方を検討していくということも必要だと思います。市民の皆さまの声を聞きながら、デジタル化も進んで参りますので、先程お話がございました電子申請の関係など市民の皆さまの利便性も含めて、今後検討して進めていくということで、他の自治体の動きも参考にしながら考えていきたいと思っています。</p>
明野委員	<p>17 ページ「(2)最先端技術等を活用したまちづくりを進めます」について、「実証実験等をはじめとした最先端技術を日常生活に取り入れるなど、産官学の連携による新たなまちづくりを進めます。」と記載がございましたが、いま決まっている実験など現在の状況についてお聞きしたいと思います。</p>
目黒課長補佐	<p>実証実験等の具体的な事例ということでご質問いただきました。実際は、市の建設部の方で、南栗橋 8 丁目で新しいまちづくりの取組みを進めていますので、当方が把握している範囲でお話できればと思います。南栗</p>

	<p>橋8丁目については現在、民間企業や大学などの高等教育機関とまちづくり協定という形で連携をしております。例えば、AIの技術やスマートシティを取り入れた持続可能なまちづくりに取り組んでいる状況でございます。その一例としましては、AIの自動配送サービスの実証実験を行っております。5G時代の利便性を活かした生活しやすいまちづくりを進めていると伺っております、今後、具体的な実証実験に移っていくと考えております。</p>
石上会長	<p>現在、基本目標8を審議しておりますが、基本目標7も含めまして何かご意見がございましたら、ご質問・ご意見等をお願いいたします。</p>
明野委員	<p>19ページの重要業績評価指標について、「ガバメントクラウドファンディングによる寄附受入額」について記載がございます。まず1点目はこれがどの項目に引っかけられるのか、2点目は現在実施しているのか、やるとするとどういうものに適用されるのか、教えてください。ガバメントクラウドファンディングは何かにて特化してクラウドファンディングするのかと思いますが、この言葉だけ出てきてもわかりづらいので、言葉の意味を含めて、現状と今後の見込みを教えてくださいませんか。</p>
石上会長	<p>ガバメントクラウドファンディングはどの項目に係る評価指標なのか、またもう少し具体的なイメージがあれば教えてくださいというご質問でした。いかがでしょうか。</p>
渋谷環境経済部副部長	<p>ガバメントクラウドファンディングについて、自主財源を確保するという「(1)健全な財政運営に取り組みます」の項目に掛かってきます。内容については、自治体が抱える問題解決のために、寄付金の使い道をより具体的にプログラム化して、そのプログラムに共感した人たちから、寄付を募るという地方税法に基づく制度になります。現在は実施しておりませんので、令和4年度に事業化を行う予定を組んでおります。今後、このようなプログラムを組んで自主財源の確保に努めていきたいというものでございます。</p>
明野委員	<p>確認になります。「(1)健全な財政運営に取り組みます」の「新たな自主財源の確保」に掛かるという認識でよろしいでしょうか。</p>
渋谷環境経済部副部長	<p>その通りでございます。</p>
柿沼委員	<p>子ども家庭庁では、地域のどの子どもも取り残さないような施策をとということで取組みをしています。いまの子どもや母子を取り巻く社会問題に対し</p>

て、国では子ども家庭庁を作ってやっていきたいと思いますということで基本目標7のところネットワークや行政機関、多種多様なという色んなことがあります、意外と幼稚園・保育園、子ども園という乳幼児施設がありますが、社会資源として認識されていなかったり、活用されていないようなことが多いのかなと思います。それは、行政の縦割りのところは致し方ないと思うのですが、これから横串を刺していかなければならないということで、この資料を見ても乳幼児施設が存在が薄いような感じがするので、そのあたりも子ども家庭庁ができるということもあるので、意識した書き方をしてほしいと思います。連携体制のところにはそのような施設が入ってきて、一緒に子育てや地域のことを考えたりというような、どうしても社会事業家さんやNPOさんのイメージが強いような感じになるのかなと思うので、ぜひ乳幼児施設もちょっと、法的に指導制限がかかったりなど、色んなことがあると思いますが、今後は子ども家庭庁の方でも改善していくと思うので、その辺りを意識した書き方をお願いしたいと思います。

7ページに国際交流と記載がありますが、この会議で常にお話しているように地域に住む外国人家庭のケア、お子さんは地域社会に馴染んでいきますが、大人が日本語を話せないことで地域から孤立してしまう。話せないということで、子どもが翻訳をするような、ある意味その子が中心となってヤングケアラーのような存在になってしまっているという事実がございますので、国際交流はもちろんですが、地域に住む外国の方々との交流機会についても意識されていかないと、ある意味そこが貧困だったり孤立化したりしていく、または子どもがそれによってあまり良い状態で養育を受けられないということもありますので、国際交流はもちろんですが、地域内でのそのような外国籍や日本語が苦手な方を取り残さないような施策が必要になってくると思います。

もう一つが、ガバメントクラウドファンディングについて、ふるさと納税もだいぶ意識されて、公共団体が子育て施策のために、ふるさと納税の一部やガバメントクラウドファンディングを使ってお金を集めて子育て施策を行い、成功例もありますので、財源がなかなか厳しいという限られた中だと思っておりますので、右側 18 ページにも「人口減少に伴い、財源が厳しい」という記載があるので、そのようなものをうまく使うと有効になってくると思います。久喜市では、今後はどうなるかわかりませんが、産婦人科がないことによって、人口を増やしたくても産み育てられない、産めない、うちも今、助産師さんを抱えているのですけれどもその方は助産院を作りたいけれども、元となる連携先の医療機関がないので助産院を作れない。法律で規定されてしまっているので助産院の誘致や産み育てやすいまちのために、こういう基金をつくって、いま 6000 万円程、準備してもなかなか助産院が来てくれない現状があるようなのですが、そういったふるさと納税やガバメントクラウドファンディングが、もしかすると非

	<p>常に宣伝効果があるようなものなので、それが子育てや子どもの学習、産み育てやすい環境づくりに繋がってくような、市として窓口を作らないと、こういったことは難しいと思いますので、市の中の財政だけでなく外から集めてきたり、また久喜市を出ていった方が、外から久喜市を応援する仕組みづくりを使って、久喜市のブランドイメージも含めて、産み育てやすいまちにできたらよいと思います。</p>
目黒課長補佐	<p>全体的な視点でご答弁させていただきたいと思います。まずは最初にございました子育て支援に直接掛かる部分は、基本目標2で子育てに関する施策をメインに触れていた形になります。今後のスケジュールになりますが、基本計画の素案という形で改めて見直しをさせていただいて再度ご審議する機会を設けたいと思っております。今後、改めて横串の視点も含めて文言の調整に向けたご審議をお願いできればと思います。</p> <p>それから国際交流の関係についてご質問がございましたが、担当課からも、そのような日本語が不自由な方の問題もあるということなので、日本語教室の充実など今後も取り組んでいきたいというお話を伺っています。</p> <p>クラウドファンディングやふるさと納税、自主財源の確保ということで、地方財政が厳しい中、今後ますます重要性が増してくることになるかと思っております。先程、環境経済部から申し上げましたが、令和4年度からガバメントクラウドファンディングを活用していくということで、そのような事業の状況を見ながら、より広く市の事業展開に活用できる方法を政策担当としても十分注視しながら考えていきたいと思っております。</p>
田中委員	<p>ご質問をさせていただきたいのですが、18 ページ、19 ページ「8-3. 持続可能で健全な財政運営と透明性の高い行政運営を確立する」の財源の確保のところ、久喜市が取り組んでいるネーミングライツの取組みを利用した財源確保に可能性があるのか、取組みがどれくらい進んでいるのか、ご質問をさせていただきます。</p>
目黒課長補佐	<p>現在、青葉公園や清久公園の野球場、久喜総合体育館などの主だったスポーツ施設で、ネーミングライツということでご協力をいただいている事例はいくつかございます。そのような類似施設は市の公共施設の中にもまだあるかと思っておりますので、更なる財源の確保という観点でも引き続き展開できるかどうか検討していきたいと思っております。</p>
田中委員	<p>ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングなど色々な財源の確保に取り組んでいく中で、ネーミングライツがそこに当てはまるのかどうかということもお聞かせいただければと思います。</p>
目黒課長補佐	<p>こちらの施策の中身としてはかなり大枠で、ネーミングライツやふるさ</p>

<p>石上会長</p>	<p>と納税等を包含した形でこの一言で表現させていただきましたが、そういった手法で財源を確保するというので、今後も努めてまいりたいという状況でございます。</p> <p>新たなということでは無いですが、既存のものも含めて積極的に財源確保に努めていきたいということです。その中で、ネーミングライツも含まれるということのようでございます。</p>
<p>石上会長</p>	<p>他にご意見等がなければ、基本計画7と8については、これまでとさせていただきます。</p> <p>それでは、次に移ります。</p>

4 その他

<p>石上会長</p>	<p>次に、「4 その他」について、まずは委員の皆さんから何かございますか。</p> <p>(意見・質問なし)</p>
<p>石上会長</p>	<p>他に、事務局から何かありますか。</p>
<p>小室担当主査</p>	<p>本日はご審議ありがとうございました。それでは、今後の予定等につきまして、ご説明申し上げます。まず、会議録の関係ですが、できる限り全文記録方式に近い形で作成後、今回の署名委員であります石上会長及び小野田委員の一任で、確定とさせていただきたいと思っております。続いて、次回の会議の開催予定でございます。本日、委員の皆様にご審議いただきました、第2次総合振興計画の基本計画の検討原案をもちまして、基本計画の審議が一巡という形になりました。序論、基本構想、基本計画の一連の資料をこれまでの審議会でご確認いただいた形となります。</p> <p>今後の予定といたしまして、来年度に入ってから次の審議会を予定しております。4月以降で、今度は第2次総合振興計画の素案といたしまして、これまでご議論いただきました検討原案の見直しをかけさせていただきまして、序論・基本構想・基本計画の内容を再度ご審議していただく予定でございます。</p> <p>次回の開催日でございますが、年度が跨ってくるため日付を確定できておりません。おおよその目安にはなりますが、開催日は5月下旬ごろを目途に調整してまいります。委員の皆様には、後日改めて正式な開催通知をご送付させていただきますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。</p>

石上会長	これまで8つの項目について2つずつ4回に渡ってご議論いただきました。新年度はこれまで修正されたものについて、再度2個ずつ審議するのでしょうか。
小室担当主査	この後の審議会の日程にもよりますが、これまでのように基本目標2つずつではなくて、もう少し大きく広げた形になります。今まで審議会でご提示していたものを、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえまして、事務局の方で修正をかけている部分もございますので、修正箇所の一覧などと併せてわかりやすくご提示したいと思います。K P Iにつきましても、先ほど申し上げましたとおり、目標値の数字等を記載した形でご審議をいただきたいと思っています。
石上会長	今回は5月下旬あたりということですが、K P Iの現状値・目標値を含めてということでございます。かなり密度の濃いご議論をお願いすることになるかと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。
石上会長	それでは他に委員の皆様から何かご質問等ございますか。 (意見・質問なし)
石上会長	無いようでしたら、以上で本日の議事は終了とし、司会進行を戻したいと思います。

5 閉会

関根参事兼企画政策課長	石上会長、ありがとうございました。 それでは、閉会にあたりまして、小林副会長にごあいさつを頂戴したいと思います。 小林副会長、よろしくお願ひいたします。
小林副会長	皆さん大変お疲れ様でございました。本日は、年度末の大変お忙しい時期にも関わらず、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。 第7回まで基本目標1～8の検討原案をご審議いただき、闊達なご議論を頂戴しました。来年度は、素案に入ってまいります。今まで以上に闊達なご議論をしていただきまして素晴らしい答申ができるよう、お願ひいたします。 また、新型コロナウイルスについてですが、大分収束に向かっているとは言え、完全に無くなったとは言えませんので、引き続き、感染しないよう注意をいただきまして、年度末を過ごしていただければと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

<p>関根参事兼企画政策課長</p>	<p>それでは以上をもちまして、第7回久喜市総合振興計画審議会を終了いたします。</p> <p>小林副会長、ありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様におかれましても、大変お疲れ様でございました。</p> <p>以上をもちまして、第7回久喜市総合振興計画審議会を終了させていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。</p> <p>令和4年4月12日</p> <p>会 長 石上 泰州</p> <p>委 員 小野田 真弓</p>	